

1-1 建物概要

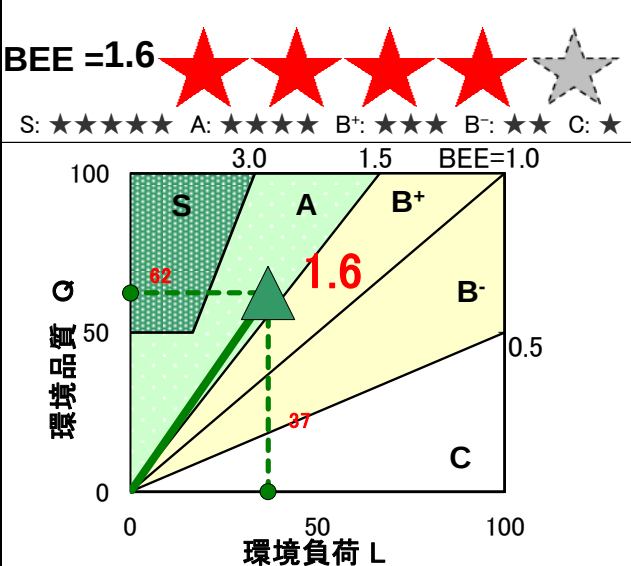
建物名称	広島ガス株式会社(仮称)防災センタービル
建設地	広島県広島市南区
用途地域	工業地域、準防火地域
気候区分	6地域
建物用途	事務所
竣工年	2017年12月 予定
敷地面積	4,162 m ²
建築面積	799 m ²
延床面積	3,906 m ²

階数	地上6F
構造	SRC造
平均居住人員	150 人
年間使用時間	3,000 時間/年
評価の段階	実施設計段階評価
評価の実施日	2016年10月6日
作成者	笹川
確認日	2016年10月6日
確認者	笹川

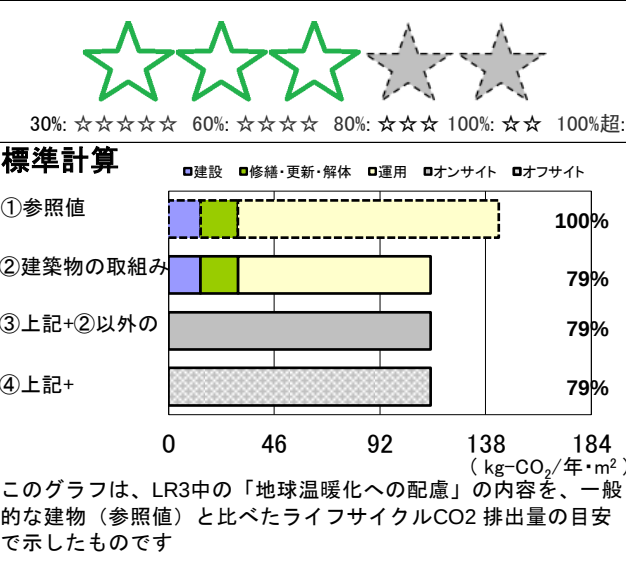
1-2 外観



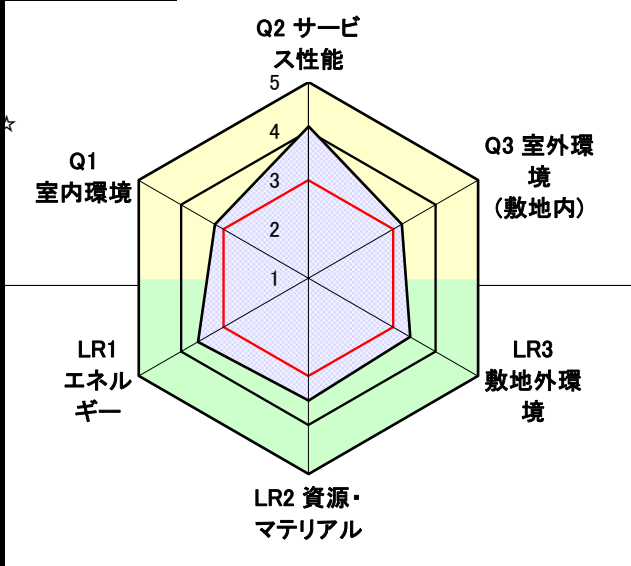
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



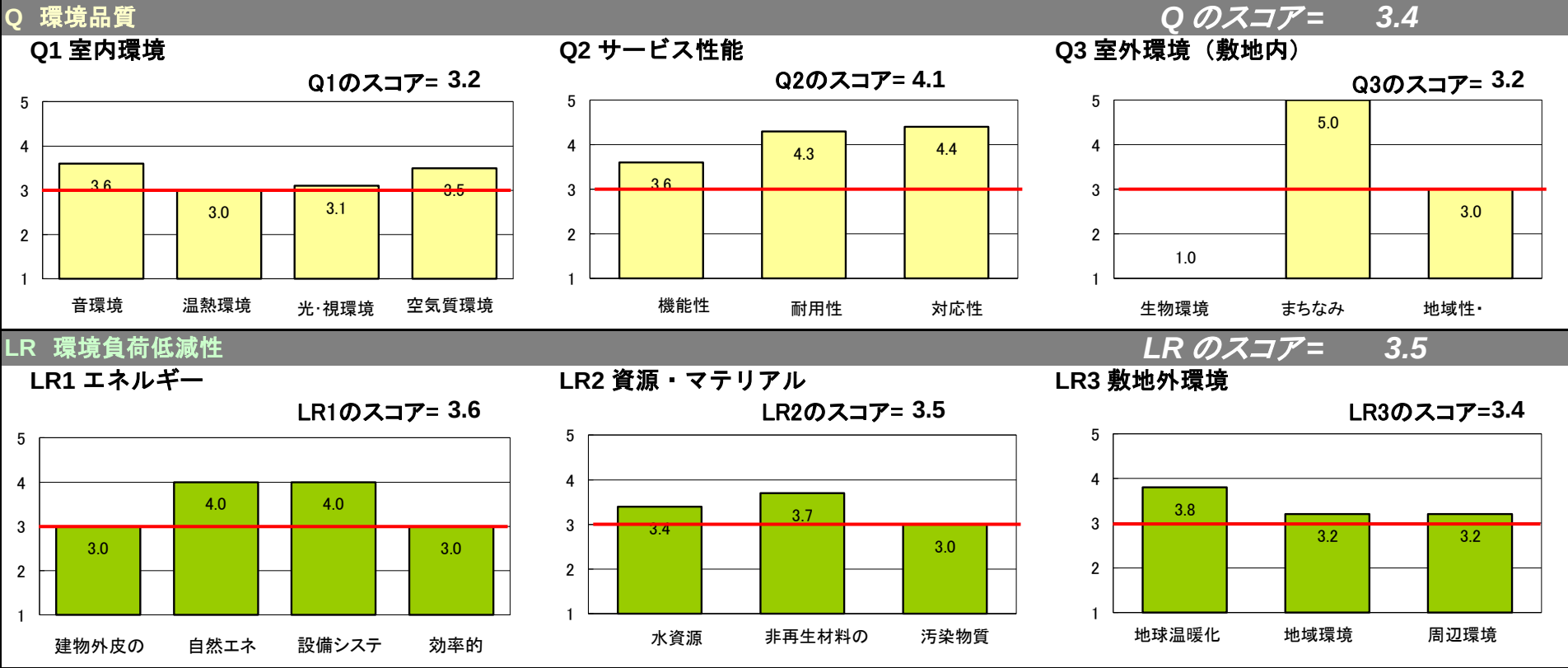
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア= 3.4		
「地球温暖化対策」の推進 スコア= 3.7	「ヒートアイランド対策」の推進 スコア= 2.1	「長寿命化対策」の推進 スコア= 4.0
設計の計画上特段に配慮した事項 開口部を極力少なくすることで、外皮性能を向上させている / 自然換気窓を設置 / 高効率型機器を多数採用 / ビル管理者による効率的な運用管理体制を確立 / 長寿命な建築材料の採用 節水型衛生器具の採用 / 高効率機器の採用による運用段階でのCO2削減	設計の計画上特段に配慮した事項 敷地内に積極的に緑地帯を創出 境界フェンスは見通しの良いメッシュフェンスを採用 / 駐輪場を設置、設備搬入車両スペースを設置、車出入口を分散配置	設計の計画上特段に配慮した事項 免震装置の導入 長寿命な仕上材料の採用 / 設備シャフト・屋上設備スペースの確保

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される